

【資本主義の本質は「淘汰＝とうた」と「失業」と「退場」にある！】

⇒メルマガ後半で

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ついに「野田式FX道場」を公開しました！！】

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/nodashikifx/>

(今回のメルマガ3大特典についての音声はこちらです

⇒ http://fxgod.net/onsei/nodashiki_fxtokuten.mp3

)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

どうもゆうです！

読者さん、こんばんは！！

さてさて、前号にて対談音声3本目を公開しました。

いきなり初っ端(しょっぱな)から過激な話が展開されてるので

驚かれた方が多いかもしれませんが・・・

やはりこういう「学校では教えてくれない本質」を学ぶのは

大事だと思うのですね。

それでこの野田さんですがトレードもやはりすごくて

例えばこの前終わった10月なんかも各口座で稼ぎまくってるんですけど

例えばこんな感じで1つの口座だけでも利益出すわけですね。

(野田さんの10月のトレードの事例画像)

<http://yuhfx1.com/gazou/trade/noda1.PNG>

(これは10月21日前後の画像)

(野田さんの10月のトレードの事例画像2)

<http://yuhfx1.com/gazou/trade/noda5.PNG>

(これは10月26日前後の画像)

ちょっとヤバいと思ったかもしれませんが

こうやって数百万円単位の利益というのをバンバンと

定期的に数日に一回単位で出されているのが億トレーダー

というものなんですけど

この野田さんのトレードを読者さんのものにしていく

ってというのが今回の野田式 FX 道場です！

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/nodashikifx/>

ただ一応10月は、これでも本人は不満だそうで

というのが10月は今回の無料FX道場のために色々コンテンツ作りを

野田さんしてくれていて、私が時間をとらせまくってしまったのですが

普段はこれもっと収益がすごいわけですね・・・

まあヤバいと。

ただ野田さんが音声でもおっしゃってるように

やはりお金だけチャートで稼ぎまくっていてもやはり人生はつまらないから

そこで何かしらの価値を作り上げてこそ一流という考え方があって

今回表に出てきてくれました。

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

狂人レベル億トレーダー野田さん×ゆうの

【熱い対談音声3本目】をついに公開！！

直リンクの音声です！（音出ます）

⇒ http://fxgod.net/onsei/nodashiki_fx3.mp3

（スマートフォンでも聞けます♪）

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆



【野田×ゆう対談音声】

野田式 FX 道場3つの鉄板のヤバい特典とは？

⇒ http://fxgod.net/onsei/nodashiki_fxtokuten.mp3



狂人レベル億トレーダー野田さん×ゆうの

【熱い対談音声1本目】をついに公開！！

直リンクの音声です！（音出ます）

⇒ http://fxgod.net/onsei/nodashiki_fx1.mp3

（スマートフォンでも聞けます♪）



★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

狂人レベル億トレーダー野田さん×ゆうの

【熱い対談音声2本目】をついに公開！！

直リンクの音声です！（音出ます）

⇒ http://fxgod.net/onsei/nodashiki_fx2.mp3

（スマートフォンでも聞けます♪）

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

野田式FX道場はこちら

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/nodashikifx/>

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

さて、それで資本主義の話が今回は出てきておりますが

こちらにもまた重要なことが話されていて、

結局FXというのは誰かが儲かってるということは

誰かが損している・・・というのと同義だということになりますよね。

特に多くのトレーダーが損失を出してる時にそこで

爆益を出していると言う人たちがいて、

やはりそれが勝ち組トレーダーたちであるという

この冷酷な現実があります。

それでここで学校が教えてくれない事実として

資本主義の本質は「淘汰」にある

という冷酷な事実があるわけですね。

売り手と買い手がいる自由市場＝フリーマーケットで

私たちは利益を出すわけですけど

そこで市場の法則というのが資本主義においては存在するのだ

というのはメルマガで以前扱ったことがあります。

今日はその資本主義の本質である「淘汰」について書きます。



資本主義の市場には「法則」がある。



それで読者さんは

まず、「何が経済のエッセンス」だと思いますか??

私たちは経済活動をしているけど「じゃあその経済って何だ」
となります。

「経済を一言で言え」と言われてなんと答えます??

答えは

「市場」です。

為替市場、株式市場も「市場」ですね。

為替市場は「比較的」資本主義の市場に近い。

が、日本の株式市場は強烈な統制がありますよね。

だからあれは資本主義の市場とは少し言いづらい、という
点があります。

が、逆にそこで「ひずみ」が発生するので裏技とかの

余地が出るってことでもあります。

空売り規制、とかあるから儲ける方法がひずみの中で

生まれるって感じですね。

これはまたいずれ扱います。

それで経済を理解すること、すなわち市場を理解すること、

です。

今まさに野田さんのトレンドラインゾーンを使った分析などを

扱っておりますが

まさにこの「市場分析」こそが経済学の要諦(ようたい)となります。

なぜ日本政府が借金だらけになって、どうしようもない

現状になってるか？

と言えば資本主義でもっとも大事な「市場」があるのですが

この「市場分析」に関しては東大出身の子たちは

暗記は得意なんだけど、

知識をいろいろつなぎあわせて、新しいものを創造するのは

不得意なんです、

その彼らがおっさんになって官僚になっているわけです。

この官僚というのは自分で稼いだ経験がないから

市場がまず分からないという問題点がありまして

これが大きくは日本の資本主義というのが「一度たりとも」

日本に出現していない理由のひとつです。

だから私たちはFXでさまざまな市場分析を行うけど

この市場分析を行う力をつけると、簡単に言うと

資本主義でもっとも重要な「市場」がわかるわけなんです。

ダウ理論とかトレンドラインゾーンの分析とかで。

だからこれからどう考えても投資家の時代になるんですね。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/nodashikifx/>

それで今までは「使えなかった経済学」ではありますが

この経済学の大事な部分として

「完全競争」というのがあると言う話をしました。

その完全競争の4条件の中で「完全情報」というのがあって

「すべての相場参加者が等しく、売買に必要な情報を
保有している」

という条件なのですが

これはネット前は完全に不可能・非現実的だったと。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ゆう PDF

【インターネットの登場が「人類に初めての資本主義」をもたらす】

http://fxgod.net/pdf/seijikeizai/capitalism_perfect_information1.pdf

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

が、ネットの登場で多くの人が「ダウ理論」とか

「ライン分析方法」とかをたとえば

このメルマガで知ることができるわけだし

ネットの登場によってこの情報の差、それを

情報の非対称性、とか言うのだけど

これが解消されていくのでこの「完全情報」という

もつとも資本主義市場で難しい点がこれから解消されていくよ～

って話なんです。

だから資本主義は終わったところか

「これからスタートしていく」とさえ言えます。

そしてみんなこの大きな潮流に気づいていないと言えます。

それで、その「本当の」資本主義市場がこれから

ネットがさまざまな制約をゼロにすることで

否が応にも到来するわけですが

そこで使われるのが「経済学」ですよ。

経済学は今までは使えない学問だったけど

これから資本主義ってのがある種純化していきますから

ようやく経済学がちょっとは使える学問になっていく

とさえ言えます。

それで学問にはいろいろあって

経済学とか法律学、心理学、人類学、社会学

政治学とあるわけですが

「経済学と他の学問の違い点」ってのがあります。

その違いとは何でしょう？？

これはですね、経済学が研究対象にするのは

「近代資本主義」「だけ」なんです。

たとえば政治学だと古代ギリシャからスタートして

古代ローマとか、中世、近世、近代・・・

とすべての時代が研究対象になるんだけど

経済学だけは「近代資本主義」「だけ」なんです。

時間的にも地域的にも限定されているんです。

法律学なんかだと近代だけではなくて

中国法、イスラム法も研究するし、韓非子なんかは

マキャベリの君主論に並ぶ理論政治学の力作で

ここも研究しないといけない。

けど経済学ってのは近代資本主義以外は見なくていいんです。

これが大きな違いですね。

経済発展論、とか近代以外を扱うものはあるにはあるけど

内容は貧弱なんです。

それで今アジア各国が、そして次は中東やアフリカがそうなのだけど

これらの発展途上の、今からまさに発展していこうという

国々が死ぬ気で学んでるのが

やはり「近代資本主義」であるということです。

この「近代資本主義」をいかに自国に根付かせるかの

戦いが世界であると言ってもいい。

その戦いから唯一抜けて社会主義まっさかりの

日本だけは特殊なんです、

だからこそ多くの日本人が海外に行くと

海外の人とどうも話しかみあわない、という現象が

出てくるんですね。

いわゆる社会主義の思考の型と、資本主義の思考の型は

かなり違うわけです。

社会主義だと「出る杭たたけ！ ベッキーたたけ！」でしょうけど

資本主義の思考の型の住民たちはどうも

そういう動きをしないのですね。

「勝手にしとけば～大人なんだし」です。

日本人の多数がこの資本主義の型を身に着けるには
あと数十年かかる、と私は見えています。

ちなみにマックスウェーバーという学者がいるのだけど
彼の研究だと、古代エジプト、メソポタミア、

あとはヘレニズム、古代ローマ、中世イタリア

中世末の南ドイツ、あとは古代中国

これらは技術も資本もある種「すごい蓄積されていて」
資本主義の手前まで行ったといわれています。

が、ついに資本主義になることはありませんでした。

これらの社会状態を「前期資本主義」と言うのですが

まず、本物の資本主義＝近代資本主義と

これら前期資本主義というのは似ているけど

全然違うものなんですね。

おたまじゃくし と なまず の関係に似ていて

それらは一応ちよつとは似ているんだけど

おたまじゃくしは どんなに頑張っても なまずに
なれません。

それととても似ています。

それなので経済学を理解するってのは

簡単に言うと

「資本主義市場を理解する」ってことなんですね。

そのために私たちはライン分析方法とか

ダウ理論とかプライスアクションとか

フィボナッチとか使ったりするわけですね。

FX や株のテクニカルや裏にある政治経済現象分析、

これは実はだから経済学の最先端を勉強してるんだよ～～

ってことにもなります。

野田式 FX 道場

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/nodashikifx/>

ちなみに「なんで日本の官僚機構は天下りや税金無駄遣いが
いまだ横行しているのか？」

と言うとこれは単純に言えば彼らに

「資本主義の思考の型＝マインドセット」がないからです。

資本主義では所有権が絶対、なのでありますが

だから税金から吸い上げた公金はいくまで人々のもの

という考え方をするわけですが(公物っていう)

日本の官僚機構は税金でとりあえず表向きキレイゴト言うんですね。

「社会保障のために」

「みんな」の協力で税金が成り立ってます～

とか言う。

ちなみに彼らは全体主義として洗脳して税金払わせたいから

「みんな」という言葉を良く使うんですよ。

これは「同調圧力」をかけて民衆に言うこと聞かせるためです。

それで税金吸い上げて、そんでその税金、公物ってのを

「自分のもの」と思うわけですね。

そんで箱物作ったり、自分らの天下りの給与にしたり

あとは彼らの手下の公務員の給与は民間の2.3倍以上にしたり

するわけです。

これは資本主義で重要な概念として所有権の考え方があるのだけど

それを国家自体が理解できていない状態でありまして

まだだから日本は未成熟な政治状態であって

資本主義を導入するには早すぎる島国である、

とさえ言えます。

なぜ人々が貧しくなっているか？といえば

これは簡単。

「日本は本質的に社会主義であり、

資本主義の考えの型がまだ根付いていないから」

でありますね。

それで多くの日本人が義務教育で洗脳されているのですが

彼らは「日本は資本主義です～」と教えられるのだと
思いますが、

これは政治学や経済学学んでる外国人たちが聞いたら
ギャグかと思うと思います。

公的部門、すなわち国家官僚とかの役人が
私的企業を明確に管理しているのに

それを資本主義と教えるって大丈夫かとなります。

中国の方が「うちの国は資本主義アルよ」といったら
日本人は笑うだろうけど、
外国人が思う日本の市場についてもその感じに近いでしょう。

日本人は資本主義は元からあるもの、と教えられるけど
実は資本主義というのはそういうものではありません。

資本主義というのは歴史的、地域的に

ごく特殊な出来事なんです。
~~~~~

資本主義はまあ「珍しい」システムであって  
特殊なものであって、

そして特殊な特徴を持つ市場が資本主義市場なんです。

それで資本主義を理解するには

「市場＝マーケット」を理解しないとイケないのですが

市場を本格的に理解するために必要なのは

「市場には法則がある」ってことです。

経済法則の基本は市場法則であります。

「こう動いたらこうなっていく可能性が高い」

とか野田さんが説明しているトレンドライン分析とか

サポレジ転換とかダウ理論とかであります

ああいう法則です。

ちなみにマルクスという人はこれを

「疎外(そがい)」と呼びました。

「〇〇さんに疎外された はぶられた」

みたいな意味の疎外です。

「市場には法則がどうもあるぞ」ってのは

アダムスミスって人が発見したことなのですが

それは後にマルクスにも確認されてさまざまな研究で  
使われました。

イギリス、アメリカの一応資本主義では

これらは当たり前のことになっているのですが

日本では当たり前ではない、わけですね。

分かりやすい事例だと GPIF の資金いれて相場動かそうとしたり

あとは為替介入で相場動かしたりというのは常態化

しておりますが

多くの実力あるトレーダーは「なぜダウ理論的に

大衆は利食い時期なのにエントリーすんの」と思いますが

そして大きな損失を計上するのですが、

(そして GPIF なんかは株式会社形態をとっておらず  
独立行政法人形態をとるから、実際のところはこれ  
赤字でしょうがそれを黒字だ、とマスコミに報道させてるがうそだ。

彼らは決算を出さなくてもいいから独立行政法人という形式にしているだろう  
だから年金は減っていく。)

これはやはり彼らが市場法則がある、ということを理解していないからです。

実はこの間違いは江戸時代にも行われたのですがそしてそれは大失敗しているのですが

数百年経った今でも日本は同じことをやっているということです。

「市場には法則がある」ってのを理解していないから財務官僚とかは規制でがんじがらめにしてみたり、

今の株式、為替市場のように違法相場操縦をやって相場を自分で動かして価格をコントロールしようとしてみたり、

そういうことをするわけです。

**PKO**とか言うけどそれは単純に言うと「違法相場操縦」なわけです。

なぜ違法なの？というとそれは資本主義の考え方から逸脱しているからですね。

ちなみに「なぜ盗みはいけないの？」というと

資本主義では所有権は絶対だからです。

だから盗みは罰せられるとなります。

こういうことを子供のうちから本当は教えるべきです。

それで「市場には法則がある」とはどういうことか？っていうと

「市場には客観的な法則があって

人間の意志ではこれを変えることができない」

というのが市場の法則です。

仮に人間が日本政府のように相場操縦をすればかならず

「市場の復讐」を受けるってわけです。

逆を言えば本質的に相場を人為で一時的に動かせば

その後必ず「ひずみ」が発生するので

そこで儲けられるんです、ということにもなります。

この市場法則を無視して人為的に相場を動かそうとするのは  
経済を破壊しますので

それはまるで虎と素手で戦うようなものであって

それはボブサップに

アンガールズの田中さんが喧嘩を売るような  
ものであります。

そういう勇ましいことを日本政府はやってるわけですが  
これは必ず市場の復讐を受けるわけですね。

ちなみに上の「疎外」ってのはどういうことか？というと

あなたが例えば家の庭でキュウリを作ったとする。

そのキュウリはあなたが庭で作ったものであるから

あなたのものですね。

あなたの所有物です。

しかしキュウリの値段は市場法則、すなわち需要と供給に  
よって決まるわけだから

それはあなたで勝手に決められないわけです。

これを市場法則と言います。

キュウリはあなたの所有物だけど

ひとたび市場に出されたら最後、

その愛しいキュウリの価格形成はあなた自身の

自由ではなくなるわけです。

なんというか愛しいキュウリが急によそよそしいもの

になるわけですが

それが「疎外そがい」の意味です。

が、この「疎外」があるからこそ

市場分析とか経済学が意味を成すんですね。

たとえば作ったキュウリを1万円で売りたい売りたいと

思ってもそれは無理な話です。

相手をプロパガンダで洗脳して売る人もいるけど

それは新興宗教の話であります。

キュウリはどう見ても1万円の価値はつきません。



一度 疎外 された人間はそれを1万円で売りたいくても  
売れませんよね。普通は。

が、「法則」を発見してそのキュウリを  
1000円くらいで売ることにはできるかもしれません。

もしくは食糧不足で需要が少なくなれば1万円になるかも  
しれません。

要するに「法則」を発見して、それを利用することなら  
~~~~~  
出来ます。
~~~~~

野田式 FX 道場はこちら

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/nodashikifx/>

これを「疎外を克服する」と言います。

克服するを止揚(しょう)するとも言います。

この「疎外を克服する」ために

それこそ私たちはFXなんかだと

ダウ理論使ったり水平線やトレンドラインゾーンの分析使ったり

波動分析使ったり プライスアクション使ったり

フィボナッチや PIVOT 使ったり

するわけですね。

が、この社会現象による「疎外」の概念、考え方は

いまいち理解されていないわけですね。

特に官僚たちはここが理解できません。

「社会現象には法則がある」

とか

「その法則ってのは、自然現象による法則のように

客観的なもので、

そして人間の意志ではどうすることもできない」

ものなんです、

これに納得できない人たちが多数生息しておりまして

だからその多数である人たちと価値観を同じくする

日本政府は市場操作を行おうとするわけです。

が、これは市場の復讐を受けるわけであって

それが「税金で日本人から収奪したお金ってのが  
どんどん減少していき、国家が破滅する」

という事態に収束していくわけなんですね。

この疎外の概念とかが分かっていない人たちが  
いわゆる社会主義者というものなのですが

それが安倍首相もそうだし、あとはスターリンとかも  
同じことをやっていました。

ちなみに安倍首相とスターリンは皮肉ではなく  
本当に政策分析すると非常に似ており

例えばスターリンは男女平等を押し進めたし  
そして経済統制もしました。

まあ全部失敗しております。

ちなみに経済の話だけだとつまらないので

男と女の話もしますが

とりあえず歴史的事実だけを見てみれば

スターリンは男女平等政策をしまして

女性の社会進出を行ったのですが

そこで起こったことを記載します。

まず、ソビエト政府は「女性解放」を

実行しようとしたわけですね。

そこで家族を解体させようとして

それまでの女性の家事全般を

「食堂、洗濯場、託児所等」に移行することにしたわけです。

んで、「家庭の負担」から女性を

「解放」することにしたのですね。

前に「日本政府しね」という問題が託児所問題で起こったわけですが

そしてこれをマスコミが大々的に報道

⇒託児所増やす という流れになっておりますが

なぜマスコミが大々的に報道したか？というのは

この辺の政策は実は安倍さんの政策とは矛盾していないのだろう

と私は見えています。

が、この試みはは失敗に終わりました。

結果、

イギリスの労働者の惨状と同じ状況になったのですが

まず

「青少年の性秩序や家族秩序に関する混乱が生じ」、

「離婚が激増し」

「出生率が激減した」

また「少年犯罪・非行が急増」

「愚連隊の増加に関する報道や批判」が高まり、

「彼らは勤労者の住居に侵入し、略奪したり破壊したりして、抵抗者は殺戮した」。

こういう結果に終わったのですね。

そして性の自由化と女性の解放は、

その目的とは裏腹に

「強者と乱暴者を結果として

助けることになり、弱者と内気な者を痛めつけることとなった」。

わけです。

日本でも出生率が下がっており、さらに

家族秩序混乱も見られますし

あとはDVなんかも増えているようですし

結構状況としては当時のソ連と似てきているなというのは

正直感じます。

ウーマンリブの男女平等は非常に聞こえはよいですが

実際にスウェーデンだったりアメリカでは

シングルマザー片親が増えておりますが

私なんかも実はそうでしたが

そういうシングルマザーが増えるわけですが、

これは日本でも同じ現象が20代で起こっているのが

必然性を持っております。

スターリンというのは経済を統制しようとしただけではなくて  
男女という性も統制しようとしたわけですが

これは見事に失敗しております

当時のソ連は1934年には家族政策、女性政策を  
見直すことを余儀なくされました。

ちなみに日本では最近「結婚できない30代女性」  
というのがテレビなんかを時々みると

すごい注目されてオンエアされているわけですが  
このような社会現象というのはスターリン政策を  
学んでいると必然的である、と分かってきます。

がこれはどうも言っではいけない事になっているようです。

だから安倍さんってのはあの人は保守を名乗るけども  
実際は非常に左であって 資本主義の考え方である  
自由市場という考え方と反対のことをしている

という、この矛盾がありますね。

最近なんかは極左という人たちは自分たちが極左という  
まずいから保守を名乗るようです。

それで日本の官僚たちも大きく見ると

社会統制をするわけであって

金融市場を見ても「市場を統制する」傾向が非常に

強いわけですね。

これは上に書いた「(人間が変えることができない)市場の法則」

を知らないからであって

上の「疎外」の意味を学んでいないからである

と言えます。

このような人たちが公的部門として私的企業を管轄しているのが

日本という国でありまして

それはだから本質的には社会主義と定義づけられるのですが

社会主義政策というのはやはり成功した事例はないわけでした

それは歴史の法則に基づくものでありますけども

だから日本の経済がこれからも衰退していくのは

実は必然的であるといえます。

だから次の世代の起業家とか投資家という人たちが

上の「市場」を理解するのは大事でありますし



そして今日書いた「疎外」の意味を理解することも  
大事なんですね。

疎外というのは「疎外の克服」によってのみ  
すなわち市場法則を理解することによってのみ  
達成される、というわけです。

ちなみにこれはまた今度書きたいな~と思うのですが  
今の日本の「お上」が「市場」を統制するってのは

今にはじまったことではありませんで

徳川時代にもされていたことなんですね。

だから実は日本の経済システムってのは大きくいうと  
江戸時代から実は進歩していない状態であって

根本的な考え方は変わっていないということです。

アジアの国々がどんどん資本主義的な思考の型を  
法律などに埋め込んで調整している中

日本の場合はそもそも法律より「空気」が優先されるわけですね。

たとえばベッキー問題が非常に分かりやすいのですが

あの子は私はまったく興味はないですが

ただ傍目から見たら彼女のやってることは法律に違反しておりません。

民事裁判とかで奥さんが訴えることはあるかもしれませんが。

が、日本という社会では「マスコミが作成する空気」が

優先されるため

ベッキーという人は「よく分からない 世間様」に

謝るわけですね。

「違法なこととして敗訴したわけでもないのに

なぜ謝るの？」

というのがおそらく 資本主義純度の高い国々の人の

考え方になります。

法とか憲法とかその下の法律という考え方があるから

そう考えるわけですが(それらが行動規範になる)

日本の場合は実はこの<法>の支配という考え方も

根付いていないと言えます。

<法>より空気が重視される国です。

ちなみに<法>と法律は違いますね。

<法>という人類普遍の考え方があり、憲法がその下にあり

その下に法律があり、さらにその下に条例やら会社の規則がある。

だからたとえば会社の規則が法律や憲法に違反していれば無効であります。

実際に裁判やれば通常なら勝てます。

もっと言えば多くの日本の警察権力というのがあってこれが

経済統制と社会統制をしているのですが、

彼らが最近よく使うのが「条例」だけどそれは憲法に違反してるので

本来の民主政であれば無効と考えられます。

が、日本の場合はそもそも民主政ではなく社会主義でありますから

憲法に条例が違反してても別に大丈夫なんです。

仮に民衆が憲法違反だ、と裁判起こしても

3権分立は成り立ってませんから

立法権 法律を作る権限。国会が持つ。

行政権 法律に基づいて政治を行う権限。内閣が持つ。

司法権 法律に基づいて裁判を行う権限。裁判所が持つ。

たとえば行政権の違憲性を司法権側の裁判官に裁いてもらおうとしても  
癒着しちゃってますから、まあ機能しないんですね。

そういう意味では日本は実は経済からの視点で見ても  
社会主義と言えるし中世的ですし

また政治の面でも発展途上と言えます。

そしてこのように「法」の考え方より

空気が重視される社会状態だと

資本主義というのは到底根付かないわけですね。

これはどういうことか？というと一応日本には

「相場操縦罪は違法」というのがあります。

金融商品取引法第 159 条ですね。

これはなぜ違法か？というと

資本主義システムでは自由市場というのが重要なわけであって  
その自由市場の自由を侵害してしまうからです。

資本主義を守るための法律と言えます。

だからそういう法律があるんだけど

今の政府がやってるのはだから

これに反する違法行為なんですが

じゃあそれを裁判官が裁けるか？といえば裁けませんよね。

だからそういう政治体系の国では、

「法より空気が優先される国では」

資本主義は機能しないとと言えるわけです。

だから日本に一度も資本主義が存在していたことはない。

と言えるわけですね。

それなのでこれからの世代の起業家投資家は

上の世代のおじちゃんたちとちがって

「市場」を理解し

「疎外」を理解し

「資本主義の条件」を理解し

それで経済活動を行って社会をどうするか？

と考える視点が必要になってくると言えます。

が、この動きが出るのが数十年かかりそうだ・・・

というのが資本主義を勉強していて私が思ってる本音でありますね。

この辺に気づいているのがいわゆる

新興起業家や投資家です、だから彼らは日本人として

海外に出て勝負しているということです。

社会主義市場で勝負するより資本主義市場というのが

これからネットの登場で完全情報が達成される中で

どんどん「産声をあげるから」そこで勝負したい

という人間の欲求であります。

資本主義に対してはあまりにも多くの批判がされてきましたが

が、生き残ったのは結局近代資本主義だけでした。

そして実はこの資本主義というのはまだまだ発展途上で  
アメリカやイギリスは資本主義か？という  
純粋な意味では違うのですね。

「資本主義側になるべくしようとしている」だけです。

そういう意味では今本来論じるべきは

「日本発信の資本主義とは何か」という部分で

「いかに完全情報に近づく体制を作るか」とか

「市場統制しようとする官僚機構を完全解体するにはどうするか」

とか

「私有財産制、所有権を侵害する税金という問題を

どの程度に収めるか、その税金で食べてる公的部門の

人数をどこまで減らすか」

とかそういう話になります。

そこで日本型の資本主義を世界に提示する必要があるのですが

この段階になるまで何十年はかかるだろう、

下手したら100年以上かかるかも・・・

というのが私が考え込むところですね。

資本主義、について考えるといろいろ見えてくるものがあります。

今日書いた「疎外」の概念と「疎外の克服」の概念は  
重要で、

その「疎外の克服」をするためにFXとか株式の  
相場分析学ぶんだよ〜ってことなので  
トレーダーにとっても大事な知識ですね。

この資本主義には法則があるっていうのが実は大事で  
それを理解するのが野田式FX道場でもあります。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ついに「野田式FX道場」を公開しました！！】  
⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/nodashikifx/>

(今回のメルマガ3大特典についての音声はこちらです  
⇒ [http://fxgod.net/onsei/nodashiki\\_fxtokuten.mp3](http://fxgod.net/onsei/nodashiki_fxtokuten.mp3)

)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆





資本主義の本質は淘汰にあり



そして重要なことなのですけどちょっと前置きかなり長くなりましたが

資本主義には市場法則があるのだという上の話なのですけど

これを理解できると音声対談の内容が理解できます。

すなわち資本主義市場法則の第一義としては

~~~~~  
「淘汰」にあるのです。
~~~~~

ずばり音声対談で言ってる「過激な」内容なんだけど

実を言うとこれが過激に聞こえるというのが問題でありまして

そもそも当たり前のことを話しているわけです。

というのが「市場の最大の機能は淘汰にあつて、

すなわち失業と破産にあるのであります」。

だからよく日本では だれだれが失業したとかだれだれが FX で破産したとか  
だれだれが仮想通貨で資金吹っ飛ばしたというのがあるわけだけど

それはずばり「健全」です。

失業と破産にこそ資本主義の本質があるんです。

市場はあまりいけない企業を破産させて淘汰させるし  
労働者の中であまり能力のない人はこれ、淘汰して失業者にする。

そして破産した企業や個人はこれ市場から「退出」します。

労働者もこれ淘汰されて失業して市場から退出します。

そして「淘汰されなかった企業と労働者だけが市場で生き残る」  
のであります。

そしてそこで生き残った企業や個人は FX なんかも株でも仮想通貨でも  
そうであるけど、

資本主義市場に相応しい企業や個人であるということになります。

生き残った労働者は、資本主義市場に相応しい労働者だ。

それで重要なのが

1市場は労働者を作る

もしくは

1市場は企業(やそれに準じる億トレーダーのような個人)を作る

わけですね。

しかしそれはどうやってだろう??という

それは

「淘汰によって」であります。

---

資本主義というのは企業と労働者から作られるわけだけど

そこで資本主義のメンバーとしては企業と労働者だけど

その市場に労働者と企業とは市場による淘汰によって作られます。

だから「淘汰」というとこれとても冷酷に聞こえるけども

市場淘汰こそが資本主義市場の「生命=命」であるわけです。

だからはっきり言いますが

**「失業と破産(淘汰)こそが資本主義の生命」となります。**

---

この命題を初めて日本人におそらく伝えたであろう大思想家は  
小室直樹と言う人なんだけども

結局そこを理解しているかどうか、でその個人が稼げるかどうか  
なんとか資本主義市場を生き抜けるかどうかが決定的に等しい。

だから今回の音声対談で言ってる

「大衆トレーダーのストップを刈ってそして利益を出している  
億トレーダーの姿」

というのはこれ、まさに資本主義そのものを反映した姿なのですけども

そこで資本主義市場に相応しい人として今回野田さんが  
出てきてるわけですが

その裏では必ず「淘汰」(とうた)が起こっているわけでした

そこではストップ入れないで取引して欲望や恐怖心に支配されてしまって  
そして市場法則も理解せずに  
それで刈り取られていく企業や個人たちが多く存在するわけですね。

そして彼らはストップ刈り取られて損をしてそして市場から  
退場、退出するわけだけど

実はここにこそ資本主義の生命がある、と言う言い方できる。

だからこの音声は「資本主義市場における淘汰」のことを話しているわけです。

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

狂人レベル億トレーダー野田さん×ゆうの

【熱い対談音声3本目】をついに公開！！

直リンクの音声です！（音出ます）

⇒ [http://fxgod.net/onsei/nodashiki\\_fx3.mp3](http://fxgod.net/onsei/nodashiki_fx3.mp3)

（スマートフォンでも聞けます♪）

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

だから市場というのは私たちの通常感覚で言うと残酷なものなのだけど

が、そこで淘汰が起こってそれで適応したものが勝ち残って

なんとかお金を稼いでいき富裕層になっていくわけですけど

この性質をまったくもって学校では教えない、会社でも教えない

となってるのが日本のあり方です。

そこで「みんな平等に豊かになって幸せになれます」なんて

何十年も日本人は教えられてきたけど

それは経済が成長している過程だったらまだそのまやかしは通じたわけです。

経済規模の GDP がちょうどアメリカの半分くらいになるように官僚たちが経済成長の過熱に冷や水を浴びせるだけでも成長期であったからなんとか経済成長はでき、なんとかなってきた。

が、もうそれは通じなくなっている。

明らかに淘汰されるものと淘汰するもの、という資本主義本来の性質が少し最近は顕著になってきたわけですね。

だから本当は学校というところは

「弱いと淘汰されるから強くなりましょう」とでも教えないといけないのだけど

今の学校は

「弱くても国家が保護してくれるからみんな平等に生きましょう」

と教えるわけだけど

そこでそうやって教えを受けてきた人間が社会に放り出されると

まるで今まで聞いていたのとは違うからそこで急性アノミーみたいな症状が出てしまうわけです。

市場においては淘汰が必ず発生するわけでした

それを理解しないとこれから大変なことになるわけです。

それで今の事情として大多数は「淘汰される側」に立たされているわけです。

なぜか？

市場法則をまったく理解していないから、

---

でしょう。

市場で誰も淘汰されようと思って市場に入っていない。

けどみな淘汰される。

市場法則を学んでいないから。

これがまさに今の日本の投資業界で起こっていることであるわけですね。

そこで「1年にわたって市場法則を理解していきましょう」

というのが今回の野田式 FX 道場になります。

もう少し言うと

「1年にわたって市場法則を理解していき、強くなっていき  
淘汰されずに市場で生き残れる強さを身に付けていこう」

というのが大きな命題としてあるわけですね。

そしてこの市場の法則というのは悲しいかな、とても重要なのに  
学校でも会社でも教えてくれません。

また大学でもそれこそ世間では良いといわれる大学でも  
この市場法則を学ぶことはできないんですね。

これって実は恐ろしいことです。

が、今はネットの時代だからその市場の法則というのを  
骨の髄(ずい)まで学んで、体でそれを教えられる人間というのが  
誕生しているわけで

その人たちから指導を受けることができるというのが  
これネットのすごいところなんです。

だから今の日本の小学校から高校までの教育や  
もしくは大学の高等教育では絶対に受けられない

それこそ東大でも受けられない内容を今回の野田式 FX 道場で  
受けられるわけで



それはさらに今回1年間という期間にわたりますので

ここで読者さんが強くなっていくのは容易に想像ができると思います。

資本主義市場の要諦(ようたい)は淘汰(とうた)にあります。

そして淘汰をされない強さを得るためには

~~~~~  
市場法則を完全に理解する必要があります。
~~~~~

もし読者さんが市場法則を完全に理解して操れる強さを

身につけたい場合は是非ガッツリとこちらで学んでみてくださいね～

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ついに「資本主義の市場法則を理解できる野田式FX道場」  
を公開しました！！】

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/nodashikifx/>

狂人レベル億トレーダー野田さん×ゆうの  
【熱い対談音声3本目】をついに公開！！

直リンクの音声です！（音出ます）

⇒ [http://fxgod.net/onsei/nodashiki\\_fx3.mp3](http://fxgod.net/onsei/nodashiki_fx3.mp3)

（スマートフォンでも聞けます♪）

)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

追伸・・・さて書いていて気づいたけど

この「淘汰」は私たち日本人の感覚には冷酷に映るわけです。

ずばり「市場の失業と淘汰と退場は肯定されるべき」なんていえばこれ

過激に聞こえる。

なぜだろう？それはわれわれ日本人のそもそもの教育なりで

洗脳されてきた価値観が

実際は社会主義や共産主義の性質に近いものであって

資本主義とは大きくかけはなれているからだ。

資本主義では淘汰をだから「全面肯定」するわけです。

しかし「淘汰と失業と退場を私は全面肯定する」といえば

日本では袋叩きにあうでしょう？

だからみんな自分で自覚していないだけで本質的には

オム真理教の信者よりもオセロの中島さんよりも

深く深く洗脳されてるのだ。

しかし洗脳されてる人間は自分が洗脳されてると気づかないというのは

よく知られている。

そしてみな自分は洗脳されてない常識人だと思って生きている。

だから資本主義の要諦は淘汰にあるのだ、という当たり前の

考え方が過激に聞こえる社会状態というのが実は

クレイゴトにまみれた異常な状態なのかもしれない。

クレイゴトが人間を人類を弱くしてきた。

そしてそれが見えてるならば、

実際の私たちは明確にこの市場淘汰が肯定される社会に

生きるのだから市場法則を学ぶべきだ、

という態度になってくるわけです。

「学校では教えてくれない資本主義の市場法則を理解できる  
野田式 FX 道場」

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/nodashikifx/>  
(強く生きたい人募集中)